

令和4年度 山口県野外教育活動指導者研修会  
 令和4年度 山口県野外教育活動アシスタント研修会 実施要項  
 (初任者研修における学校選択研修対象研修会)

1 趣 旨

野外活動とカウンセリングを組み合わせ、個人や集団の成長を図る野外教育活動を通して、野外教育活動の指導者になるための知識や経験を習得し、以下の3つの力を高めた指導者を育成する。

「把握する力」…その日の会話や動作、感情や思考など、グループ内で実際に「見えた、聞こえた、感じた」こと等を基に話し合いをすることで、指導者としての子どもの心を把握する力を高める。

「判断する力」…大自然での活動の中で、個人やグループの「的確な目標や達成のための方策」等をグループの話し合いにより決定することで、様々な状況下で適切に判断する力を高める。

「挑戦する力」…「困難にチャレンジする」ことを言葉でなく実際の体験として積み重ねていくことで、仲間との信頼と支えを基に、挑戦する力を高める。

2 実施期間及び概要

□山口県野外教育活動指導者研修会

	期 間	概 要
Ⅰ期	令和4年7月31日(日)～8月8日(月) [8泊9日] ※可能であれば6月26日(日)9:30～13:00の事前説明会(十種ヶ峰青少年自然の家)へ参加	・研修生だけで班を編成し、OBS手法による野外教育活動実習を行うもの。 ・終了後、レポートを提出。
Ⅱ期 ※1	令和4年度小学生チャレンジプログラム※2 または令和5年度心の冒険・サマースクール期間中(2泊3日以上)	・「心の冒険・サマースクール」(小学生チャレンジ等)で、実際に指導実習を行うもの。

※1 Ⅱ期に係る特例措置

本研修の受講に先がけ、同等の経験がある場合(過去に指導者として参加した経験があるなど)は、Ⅱ期(指導実習)が免除される。ただし、受講を妨げるものではない。

※2 小学生チャレンジプログラム

期間：令和4年7月23日(土)～7月30日(土) (7泊8日)

対象：県内の小学5・6年生 24人

場所：十種ヶ峰青少年自然の家及び周辺山域

□山口県野外教育活動アシスタント研修会

	期 間	概 要
小学生チャレンジプログラム	令和4年7月23日(土)～7月30日(土)のうち2泊3日以上	・各プログラムにおいて、参加者の班につき指導実習を行うもの。
中高生クエストプログラム	令和4年7月31日(日)～8月7日(日)のうち2泊3日以上	

※可能であれば6月26日(日)9:30～13:00の事前説明会(十種ヶ峰青少年自然の家)へ参加

3 実施場所 十種ヶ峰青少年自然の家及び周辺山域(自然の家集合解散)

4 主 催 山口県教育委員会

5 共 催 (公財)山口県ひとづくり財団

6 後 援 山口市教育委員会

## 7 対 象

教職員、行政職員、青少年教育関係者等で以下の(1)～(3)全ての要件に該当する者

- (1) 野外教育活動を通じたカウンセリング・人間関係づくりに関心がある者
- (2) 将来、学校教育や青少年教育において指導的な立場が期待される者
- (3) 県教委主催「心の冒険・サマースクール」等の事業への協力の意向がある者

※受講者に求められる資質(野外での経験や体力は必ずしも要件ではない)

- ・子どもに対するきめ細やかな心配り
- ・野外での体験活動及びカウンセリングに対する関心・意欲

## 8 定 員

- ・山口県野外教育活動指導者研修会：10人
- ・山口県野外教育活動アシスタント研修会：各プログラム5人程度

## 9 研修内容

- ・OBS(アウトワード・バウンド・スクール)概論及び指導法
- ・AFPY(Adventure Friendship Program in Yamaguchi)概論及び指導法
- ・個人とグループの成長を支える人間関係づくりの組立て方
- ・リスクマネジメント 等

## 10 研修効果

- (1) 野外教育活動に関する総合的かつ実践的な指導力の獲得
- (2) 個人とグループの成長を支える温かい人間関係の体験、プログラムの組み立て方の習得
- (3) 体験活動における目標設定・振り返り、危機管理等に関する指導力の獲得
- (4) 自己の教育観を見つめ直すなど、教育者としての総合的な資質の向上

## 11 講 師

- ・アメリカ・ハリケーンアイランドOBSにて研修を受けた野外教育活動指導者
- ・青少年自然体験活動推進事業の講師 等

## 12 参加費

- ・山口県野外教育活動指導者研修会：13,000円(食費、保険代、消耗品等)
  - ・山口県野外教育活動アシスタント研修会：泊数に応じた実費(食費、保険代、消耗品等)
- ※主催者より旅費をお支払いします(事後清算)ので、実質負担はありません。

## 13 日 程

□山口県野外教育活動指導者研修会

	期 日	研修内容(予定)
一 期	7月31日(日)	山口県十種ヶ峰青少年自然の家集合(10時) ・開会式 ・バックパッキング(荷物を背負っての山歩き)実習等
	8月1日(月) ～7日(日)	・バックパッキング実習 ・サイクリング実習 ・グループカウンセリング実習 ・ソロ(一人になる環境で思考する)実習 ・ロッククライミング実習 ・仲間づくりのための課題解決型活動 ・暗喩の効果的な活用法 ・クリーンアップ(片付け) 等
	8月8日(月)	・ファイナルミーティング ・閉会式 山口県十種ヶ峰青少年自然の家解散(14時)

	プログラム	会場・研修内容
日 期	令和4年度小学生チャレンジプログラムまたは令和5年度心の冒険・サマースクール期間中(2泊3日以上)	・十種ヶ峰青少年自然の家及びその周辺山城 ・「心の冒険・サマースクール」(小学生チャレンジプログラムまたは中高生クエストプログラム)における班での指導実習

□山口県野外教育活動アシスタント研修会

参加を希望するプログラム・日程により異なる(詳細は受講決定時に本人に通知)。

#### 1.4 持参物

マスク(洗濯可能な物)、長袖シャツ、半袖Tシャツ、下着、長ズボン、ソックス、帽子、タオル、軽登山靴、雨具(カッパ)、ヘッドランプ、油性ボールペン、空のペットボトル(500ml)、チャック式クリアフォルダー、軍手、歯ブラシ、ビニール袋、虫除けスプレー・虫さされの薬

※ザック、自転車をはじめ、野外の生活に必要な装備のほとんどは主催者側で貸与可。雨ガッパ、軽登山靴、登山スパッツ等は個人で持参(詳細は受講決定時に本人に通知)。

#### 1.5 募集方法

- ・4月下旬に県内小中学校、高等学校、特別支援学校、高等専門学校に募集チラシを配布する。
- ・地域連携教育推進課ホームページに募集ページを掲載する。

#### 1.6 受講申込

- ・山口県野外教育活動指導者研修会は別紙様式1により、山口県野外教育活動アシスタント研修会は別紙様式2により、所属長の推薦書を提出すること。
- ・市町立小・中学校教職員は5月31日(火)までに市町教育委員会へ提出すること。その他の教職員、行政職員、青少年教育関係団体職員等は6月3日(金)までに教育庁地域連携教育推進課へ提出すること。

※受講決定は6月中旬に各所属長へ通知する。

#### 1.7 その他

- ・密集を避けるため、参加者同士の距離を十分に確保した施設泊や個別のテント泊とするなど、十分な感染防止対策を講じた上で、プログラムを実施する。
- ・今後の新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し研修会を中止する場合がある。

#### 1.8 問合せ先

〒753-8501 山口県山口市滝町1-1

山口県教育庁地域連携教育推進課青少年教育班

電話 : 083-933-4650 FAX : 083-933-4669

電子メール : [a50400@pref.yamaguchi.lg.jp](mailto:a50400@pref.yamaguchi.lg.jp)

担当 : 上野 剛

## 《参考》「心の冒険・サマースクール」について

### ○BS手法を生かした教育的効果の高い自然体験活動

本事業は、○BS(アウトワード・バウンド・スクール)手法を活用したプログラムである。○BSとは、従来の野外活動に教育学や心理学の手法を取り入れた野外教育活動のことで、山口県教育委員会では、独自にこの手法を海外から導入し、平成5年度より「心の冒険・サマースクール」等を実施してきた。ここでは、「自己肯定感の向上」「他者との信頼関係」等において、一過性でない効果の定着が見られ、教育的効果の高い自然体験活動として取り組んでいる。

### 学校における○BS手法の広がり

学校において、学級経営や生徒指導等の場面で効果的に活用されているAFPYは、この○BSから派生した人間関係づくりの手法であり、本事業に参加することにより、AFPYの原点に触れ、より効果的なAFPYの指導方法が身に付くと考えられる。

また、「AFPY研修会」等、指導者育成に取り組んでいる。

### 教職員研修としての有効性

本事業において、指導者(講師)が教育専門職としての豊かな見識と経験を生かし、子どもに対して教育相談的に対応する経験は、「子どもの心を把握する力」「様々な状況下で適切に判断する力」の高まりなど、教職員自身にとっても実践的な研修の場となる。教育技術を研鑽したり、そのノウハウを学校へ還元したりする、またとない機会となっている。

★ 本研修会に関する問合せ先：教育庁地域連携教育推進課 (TEL 083-933-4650)